



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 プレス工業株式会社

コード番号 7246 URL <http://www.presskogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 真柄 秀一

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 矢原 洋

TEL 044-276-3901

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	43,359	△7.2	2,148	△27.4	2,491	△13.3	1,749	4.0
25年3月期第1四半期	46,704	27.7	2,960	21.9	2,874	17.7	1,682	83.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 4,111百万円 (67.0%) 25年3月期第1四半期 2,461百万円 (35.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	16.11	—
25年3月期第1四半期	15.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	138,020	62,428	41.0	520.73
25年3月期	128,935	58,498	41.6	493.40

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 56,576百万円 25年3月期 53,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	88,000	△0.1	4,300	△20.4	4,300	△17.8	2,600	△12.1	23.93
通期	177,000	1.1	9,400	5.8	8,900	△7.9	5,000	△10.5	46.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	114,007,210 株	25年3月期	114,007,210 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	5,359,020 株	25年3月期	5,357,999 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	108,648,861 株	25年3月期1Q	108,653,712 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの自動車関連事業の国内生産は、国内向けはエコカー補助金終了前の駆け込み需要があった前年同期に比べ減少となり、輸出も前年同期に比べ減少となりました。

タイや米国の生産は、引き続き好調な需要により前年同期に比べ増加しました。

建設機械関連事業の国内生産は、輸出が回復傾向にあるものの、前年同期に比べ減少となりました。

中国の生産は、依然として国内向け、輸出とも低調であり、好調であった前年同期に比べ大幅に減少しました。

このような事業環境の中、当社グループは設備更新による競争力強化・省人や生産性向上といった合理化諸施策を推進し、収益基盤を強化すると共に、グループ各拠点での新規受注品の生産準備活動を着実に進めてまいりました。

海外事業展開につきましては、新規に受注した当社コア商品の生産あるいは生産準備活動をグループ各社において進めております。

- ・タイ：TSPKKグループにおいて、大型トラック用リアアクスルケースを2013年7月に量産開始
- ・米国：PK U.S.A., INC. において、米系自動車メーカー向けアクスル部品を2014年に生産開始予定
- ・インドネシア：PT.PK Manufacturing Indonesiaにおいて、中・小型トラック用フレーム部品組立を2014年に生産開始予定

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は433億59百万円（前年同期比7.2%減）となり、営業利益は21億48百万円（前年同期比27.4%減）、経常利益は24億91百万円（前年同期比13.3%減）、当期純利益は17億49百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(自動車関連事業)

普通トラックの国内需要は、13千台と前年同期に比べ減少し、小型トラックの国内需要は、17千台で前年同期に比べ増加となりました。輸出は普通トラックは前年同期に比べ減少となりましたが、小型トラックは北米向け輸出が好調であったことにより前年に比べ増加しました。

タイにおいては、1tピックアップトラック需要は引き続き好調に推移し、当社子会社TSPKKグループの売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

米国においては、低金利の影響を受けた買替えにより自動車需要が堅調に推移し、当社子会社PK U.S.A., INC. の売上高は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は377億15百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は27億87百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

(建設機械関連事業)

国内においては、復興需要や排ガス規制前の駆け込み需要に加え、北米向けの輸出が増加するも、インドネシア市場での鉱山機械需要の減少等の影響により本格的な回復には至らず、当社及び当社子会社協和製作所の売上高は、前年同期に比べ大幅に減少しました。

中国においては、生産減の底打ち感はあるものの低水準に留まっており、当社子会社蘇州普美駕駛室有限公司（PM CABIN MANUFACTURING CO., LTD.）の売上高は前年同期に比べて大幅に減少しました。

インドネシアにおいては、当社子会社PT.PK Manufacturing Indonesiaの生産が2013年1月より徐々に増加しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は61億53百万円（前年同期比40.1%減）、セグメント利益は1億87百万円（前年同期比84.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,380億20百万円となり、前連結会計年度末比90億84百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債は、755億91百万円となり、前連結会計年度末比51億54百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は、624億28百万円となり、前連結会計年度末比39億29百万円の増加となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は41.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日付で公表した予想を変更いたしません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,178	12,734
受取手形及び売掛金	26,344	29,078
商品及び製品	689	806
仕掛品	8,188	8,417
原材料及び貯蔵品	1,104	1,180
未収還付法人税等	245	13
その他	3,121	4,094
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	51,872	56,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,595	10,027
機械装置及び運搬具（純額）	16,601	16,890
土地	31,528	31,660
その他（純額）	10,043	12,849
有形固定資産合計	67,769	71,428
無形固定資産		
その他	301	292
無形固定資産合計	301	292
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,105	10,085
貸倒引当金	△112	△112
投資その他の資産合計	8,992	9,972
固定資産合計	77,063	81,693
資産合計	128,935	138,020
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,300	23,496
電子記録債務	5,013	5,200
短期借入金	14,342	16,655
未払法人税等	1,192	1,241
賞与引当金	2,546	1,530
引当金	128	33
その他	5,956	8,535
流動負債合計	49,480	56,692
固定負債		
長期借入金	7,626	5,013
再評価に係る繰延税金負債	8,844	8,844
引当金	395	437
資産除去債務	406	406
その他	3,682	4,196
固定負債合計	20,956	18,899
負債合計	70,437	75,591

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,074	2,074
利益剰余金	28,604	29,865
自己株式	△1,187	△1,188
株主資本合計	37,561	38,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,107	1,649
土地再評価差額金	16,013	16,013
為替換算調整勘定	△1,074	91
その他の包括利益累計額合計	16,045	17,754
少数株主持分	4,890	5,851
純資産合計	58,498	62,428
負債純資産合計	128,935	138,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	46,704	43,359
売上原価	40,880	38,277
売上総利益	5,824	5,081
販売費及び一般管理費	2,863	2,933
営業利益	2,960	2,148
営業外収益		
受取利息	20	21
受取配当金	32	50
貸貸収入	22	21
為替差益	—	361
その他	21	7
営業外収益合計	97	462
営業外費用		
支払利息	130	114
為替差損	42	—
その他	10	4
営業外費用合計	183	119
経常利益	2,874	2,491
特別利益		
固定資産売却益	1	2
関係会社清算益	—	418
保険差益	7	0
その他	—	23
特別利益合計	9	444
特別損失		
固定資産除却損	23	46
固定資産売却損	0	1
特別損失合計	24	47
税金等調整前四半期純利益	2,859	2,888
法人税、住民税及び事業税	1,035	1,148
法人税等調整額	△35	△89
法人税等合計	999	1,058
少数株主損益調整前四半期純利益	1,859	1,830
少数株主利益	177	80
四半期純利益	1,682	1,749

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,859	1,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△420	542
為替換算調整勘定	1,022	1,738
その他の包括利益合計	602	2,281
四半期包括利益	2,461	4,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,935	3,458
少数株主に係る四半期包括利益	526	653

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,580	9,699	46,280	424	46,704	—	46,704
セグメント間の内部売上高又は振替高	217	566	784	—	784	△784	—
計	36,798	10,266	47,064	424	47,488	△784	46,704
セグメント利益	2,608	1,209	3,817	22	3,840	△879	2,960

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります

2. セグメント利益の調整額△879百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△875百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	37,399	5,682	43,081	277	43,359	—	43,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	315	471	787	—	787	△787	—
計	37,715	6,153	43,868	277	44,146	△787	43,359
セグメント利益	2,787	187	2,974	14	2,989	△840	2,148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります

2. セグメント利益の調整額△840百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△844百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。